

# 総合計画／実施計画書 兼 事業事業評価シート

事業期間 H20 ～ H22

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農業振興課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）		
基本施策ID	基本施策名	
4 - 1 - 3	多様な担い手を育成する	
重点施策ID	重点施策名	
- - -		

2. 事業名等				
事業名	新技術省力化施設整備事業	事業区分	②	①新規 ②継続 ③その他 ( )
細事業名		実施形態	①	①毎年 ②隔年 ③その他 ( )
事業主体	市		④	①直営 ②指定管理 ③委託 ④その他 ( 事業費補助 )
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務			
実施期間	平成 19 年度 ～ 平成 22 年度	根拠法規	大分県次代を担う酪農経営基盤強化対策事業費補助金交付要綱	
各種の計画への反映 (=根拠計画)		豊後大野市農業振興計画	事業ID	18024

3. 事業の内容等			
<b>事業の背景</b> 近年、乳価低下並びに農協飼料の高騰により経営内の改善が急務とされることから、効率よい畜舎の改善と新管理技術の導入を行い経営コストの軽減を図る必要がある。	補助事業	名称	新技術省力化施設整備事業
		補助率	国 県 その他 1/ 1/ 3 1/
		起債の種類	① ② ③
<b>事業の目的及び対象</b> 【目的】 酪農経営の基盤強化。  【対象】 酪農経営者	<b>事業概要</b> 認定農業者等、かつ牛群検定に取組んでいる者、または取組むことが確実と見込まれる者。 [補助対象]①搾乳ユニット自動搬送装置・自動給餌機・コンブリートミキサー・牛舎改築②自走コンブリートフィーダー・発情発見草地・換気扇・細霧装置 [補助率]県1/3 市1/6 受益者1/2	<b>前年度の評価</b> E 維持	<b>評価結果に基づき見直した内容</b>

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)								
財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予算	国庫支出金							
	県支出金			276	400	400	400	
	地方債							
	その他							
	一般財源			139	200	200	200	
	計			415	600	600	600	
決算	国庫支出金							
	県支出金			276				
	地方債							
	その他			139				
	一般財源			415				

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成17年度	平成18年度	平成19年度	課題
		【実績】 畜舎改築1棟	飼育環境の改善により快適性を向上させ遺伝的能力を十分に発揮させる必要がある。

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値											
活動指標	管理施設の整備、機器導入に対する補助額										
効率指標	前年度決算額 > 当該年度決算額 ⇒ 平成21年度は、コスト評価（経済性、効率性、効果性）を実施する。										
成果指標	①生産量 ②省力化施設										単位 kg、棟
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考				
種別			生産量 施設数	生産量 施設数	生産量 施設数	生産量 施設数					
目標値			7,100 1	7,460 1	7,850 1	8,200 1					
実績値			7,179 1								
達成率			100.0% 100.0%								
備考											

# 総合計画／実施計画書 業務事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農業振興課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	生産費の高騰や生乳価格の低迷による危機的状況に対応するために、効率的な新技術の導入や飼養環境の改善を図る施設の整備が必要であるため。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	4	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを供給できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	県事業であり市としても取組む必要があるため。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	施設整備に係る経費の一部を行政が貸付する方法が最も妥当であるため。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	酪農経営安定対策にきわめて高い効果があるため。				
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	今後も同程度の施設整備が見込まれるため。				
人体 員制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	兼任業務であり、現状の人員以上の削減が困難なため。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	酪農振興に寄与しており、現状維持が望ましいため。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
部長	課長	班長	担当者	内線 2550 E-mail @bungo-ohno.jp	